

ヒルムシロ

Potamogeton distinctus A.Benn.
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

池や水路などで普通にみられたが、近年著しく生育地、個体数とも減少している。特に水田付近の生育地は著しく減少している。

分 布

北海道～九州に分布する。全県一円に分布する。

種の特徴

池や沼に生える多年生草本。円形の葉を水面に浮かせる。地下茎は泥の中にあって横に這い、水中に茎を伸ばす。葉は互生するが、対生することもある。水中葉は細長く、薄くて波打つ。浮葉は細長い柄を持ち、葉身は楕円形、先はややとがる。葉腋からやや長い柄が出て、先端に棒状の花穂がつく。

生育を脅かす要因

池沼の埋め立て、河川改修工事による生育環境の消失と自然遷移の進行が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○	○		○			○	○	○		○	○	○

センニンモ

Potamogeton maackianus A.Benn.
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は5箇所、生育個体数も少ない。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では小浜市、若狭町、敦賀市、越前町、福井市で確認されている。

種の特徴

湖沼などに群生する沈水性の多年生草本。葉はすべて沈水葉で、広線形、縁に細かい鋸歯がある。葉柄は無く、葉は互生し葉の中央脈は明瞭で色はやや褐色。花期は7～8月。総状花序をつける。数個の花を間隔をあけてつける。果実は広卵形。

生育を脅かす要因

池沼開発、河川改修工事による生育地の改変、自然遷移による生育条件の変化が生育地、個体数とも減少させている。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○	○										○

オヒルムシロ

Potamogeton natans L.
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

近年生育環境が悪化、または消失して、生育地、個体数とも減少している。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では嶺南、嶺北、嶺北の範囲で広く確認されている。

種の特徴

湖沼や川に浮葉する浮葉植物。地下茎から茎を伸ばし、水中に伸びる茎は2～3mに達することもある。同じ植物体に浮葉と沈水葉をつける。浮葉は長楕円形で、葉柄をもつ。沈水葉は線形。花期は5～8月、穂状花序をつける。冬には殖芽を形成して、無性的に繁殖する。

生育を脅かす要因

池沼開発、河川改修工事による生育地の壊変、自然遷移による生育条件の変化が生育地、個体数とも減少させている。

参考文献 角野康郎（1994）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○	○	○				○	○		○	○	